

I. 事業所基本情報

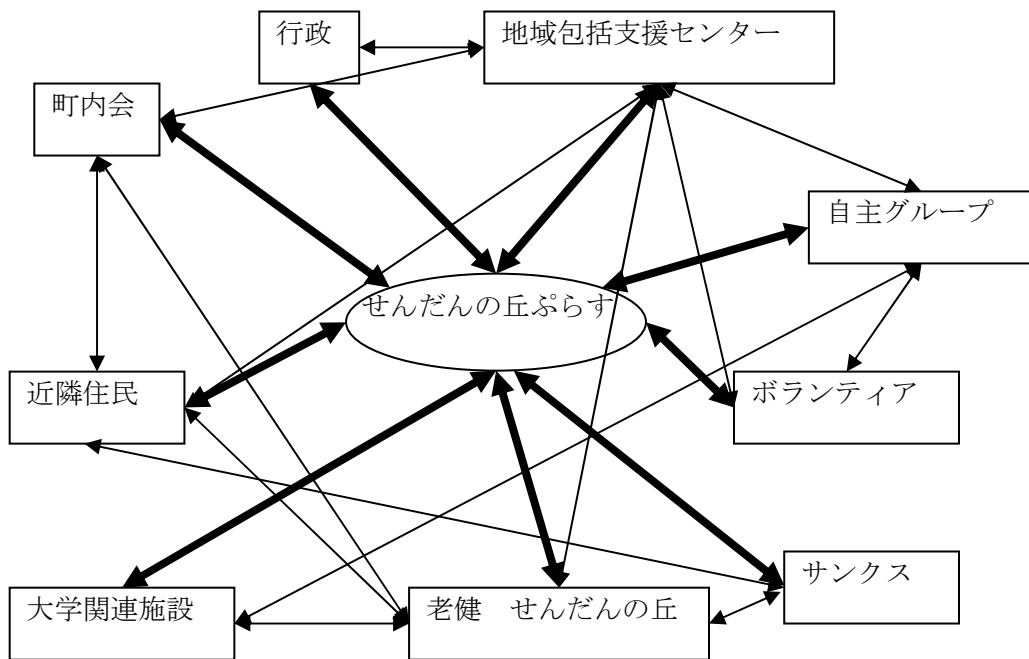
(ふりがな)	いりょうほうじんしゃだん とうほくふくしかい せんだんのおかぶらす		
団体名	医療法人社団 東北福祉会 せんだんの丘ぶらす		
所在地	仙台市青葉区国見ヶ丘5-1-10		
交通アクセス	仙台市営交通 国見ヶ丘5丁目停留所下車 徒歩1分		
連絡先	TEL・FAX 022-719-5621		
メール			
ホームページ			
事業理念 特徴	<p>母体施設の老健せんだんの丘ではこれまで、要介護状態の方々への地域生活支援を多角的な視点から展開してきた。その試行錯誤の中でわかったことは地域の中で安心して生活できる環境作りが必要であることであった。「地域の中で役割を持ち、要介護状態になってもその役割の一部を担うことができること、そして、最後を安らかに迎えることができる居場所がある」という仕組みを地域の中で機能させる必要であるという考えの基、開設に至った。</p> <p>要支援認定者、特定高齢者、一般高齢者など幅広い対象者に対して、介護予防の普及啓発を行い、対象者の主体的な活動を支援していくことを目的としている。</p>		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
	介護予防通所介護	要支援1および要支援2認定者	要支援1・2の方を対象とした短時間型通所介護。サービス提供時間を午前2時間（9:00～11:00）、午後2時間（14:00～16:00）に設定し、運動器機能向上プログラムを主な手段として対象者の自立支援を行う。また、対象者の主体的な活動を引き出せるよう工夫して支援している。
	通所型特定高齢者支援事業（行政からの委託事業）	特定高齢者	週2回の運動教室を全20回行う通所型特定高齢者支援事業。近隣の4地域包括支援センター圏域を対象に実施。特定高齢者の生活機能の維持・向上を図ると同時に、介護予防に資する生活習慣や自己管理方法を身につけることの支援を行うことで、生活の質を向上させる手立てとする。
	介護予防自主グループ支援活動	地域住民 老人クラブ 自主グループ 参加者など	包括支援センターと共同で行う、新規介護予防自主グループの立ち上げから活動継続のための支援活動。
	講師派遣		包括支援センターの依頼を受け、包括センターが行う介護予防教室での運動指導など介護予防の普及啓発。
一般向け運動教室	近隣住民に対する、自費の運動教室→介護予防の普及啓発		
イベント企画運営	花見バスツアー・餅つき・夏祭り・ウォーキングイベントなど		
職員配置 (ボランティアを含む)	管理者1名 介護福祉士（常勤）1名（非常勤）1名 看護師2名 作業療法士2名 ボランティア登録：2名（地域住民）		

II. 支援に関する情報

実際の活動の様子



地域との関係について



作業療法士の役割

- ① 対象者がおかれている状況を総合的に判断・評価し、関係機関と相談しながら、適切なサービス形態を提案する。→相談の形態は様々で、地域包括支援センターを通しては勿論の事、ご本人・ご家族が直接見えることもある。対象者の幅(年齢や身体状況)も広いが、様々な段階におけるサービスを提供できるので、対象者の身体機能や環境の評価に基づいて、適切なサービスを選択することが重要である。
- ② イベントの企画や運営→役割の再発見。その人にとっての意味のある作業の探索。
- ③ 通所リハビリテーション卒業組みへの支援→IADL への支援やより主体的な活動への支援など。
- ④ 対象者の状態に応じた連続性のある支援→老健せんだんの丘との連携も含め、要介護状態(通所リハビリテーション)～要支援認定～自立(特定高齢者)、入所利用者の在宅復帰に向けた支援など。
- ⑤ 介護予防の普及啓発→地域包括支援センターと連携した地域への働きかけと地域からの要望に対する対応。

I. 事業所基本情報

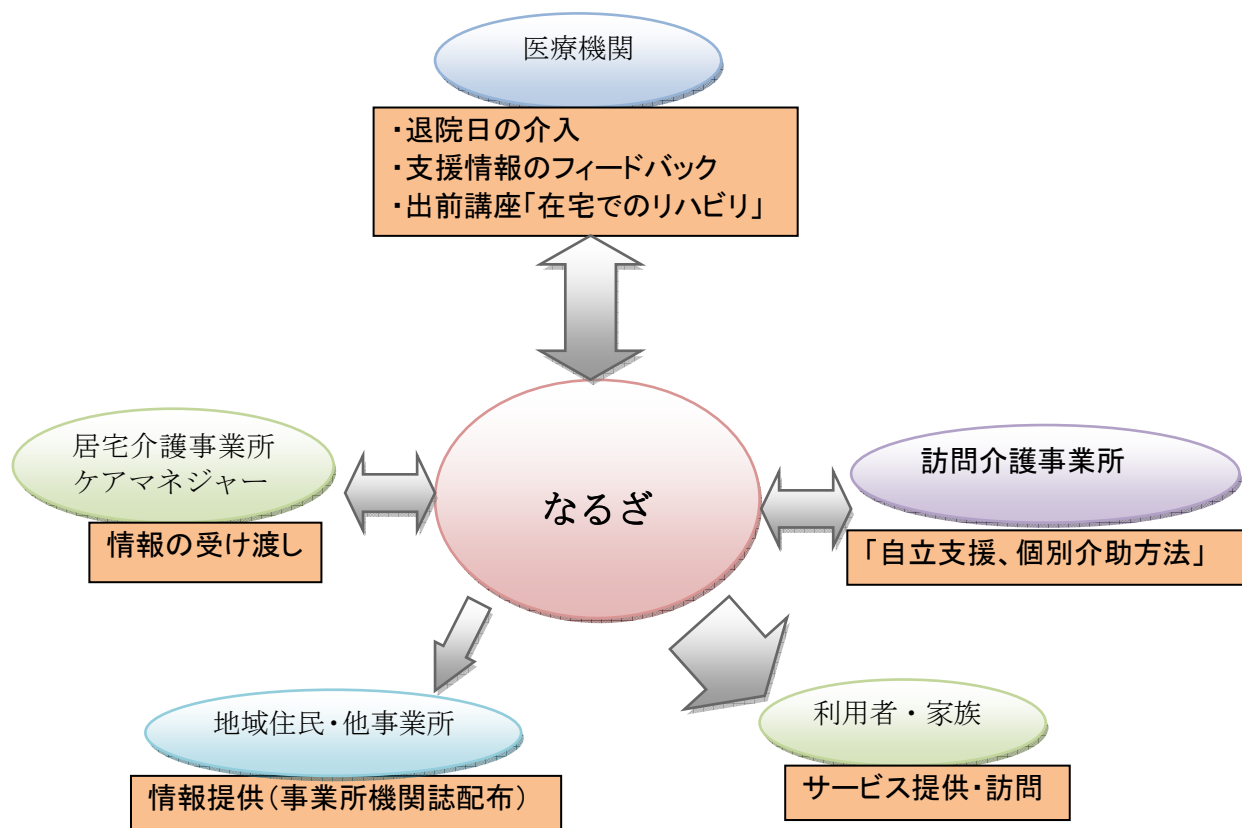
(ふりがな)							
団体名	有限会社 なるぎ 訪問看護ステーションなるざりハビリサービス、通所介護あしのさと						
所在地	〒910-4103 福井県あわら市二面2丁目211番地						
交通アクセス							
連絡先	0776-73-5517						
メール							
ホームページ							
事業理念 特徴	<p>●社会的背景:①病院経営の変化、②1999年3月規制緩和、介護事業が民間に開放、③訪問リハビリの供給が未整備</p> <p>●個人的背景:①在籍した病院での訪問リハの経験、②在宅生活支援での関わりに強い関心をもった、③8年間勤めた職場もOT6名になり後輩も育った、④起業に必要な資金(貯金)があった。</p> <p>●継続的な補償:①リハビリの社会的ニーズが地域に不足している現状、②仕事を通じた地域人脈(医師、保健師、介護事業者、利用者)</p> <p>●社会的使命:自分の経験と技術を自分の形で対象者に喜んでもらえることにやりがいを感じる。</p>						
事業詳細	事業名	主な対象者	内容				
	訪問看護	介護保険制度利用者	・緊急時訪問看護加算、特別管理加算等あり ・職員9名 ・対象者は医療1に対し介護2の割合、難病患者のリハニーズは高い。				
	通所介護	介護保険制度利用者	・小規模通所介護 定員15名 ・土、日、祝休み ・職員9名 ・35%と比較的男性の割合が高い。支援1～介護5とすべてのレベルの方が利用。 ・施設前の庭、畑を中心に季節ごとの野菜を作ったり、草花を植えたり、園芸療法を実施している。近隣住民の方からボランティアで一部花植えの手伝いや、野菜作りのアドバイス、苗等の提供を得ている。				
職員配置 (ボランティアを含む)		看護師・保健師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	介護福祉士(含むヘルパー)	その他
	実数	5	2	3	1	4	1
	常勤	3		3		3	
	非常勤	2 5日/週	2 5日/週		1 1日/週	1 4日/週	1 5日/週

II. 支援に関する情報

写真



地域との関係について



作業療法士の役割

◎医療と介護、病院施設と在宅との橋渡しをする。

- 1) 退院日の介入。
- 2) ケアマネジャーから情報をもらうのではなく、情報を求められる関係をつくる。
- 3) 生活への移行にどんなプログラムを行ってどうなったか等を医療機関にフィードバックする。
- 4) 医療機関へ出前講座「在宅でのリハビリ」、訪問介護事業所へ「自立支援、個別介助方法」の指導や講義を行っている。

I. 事業所基本情報

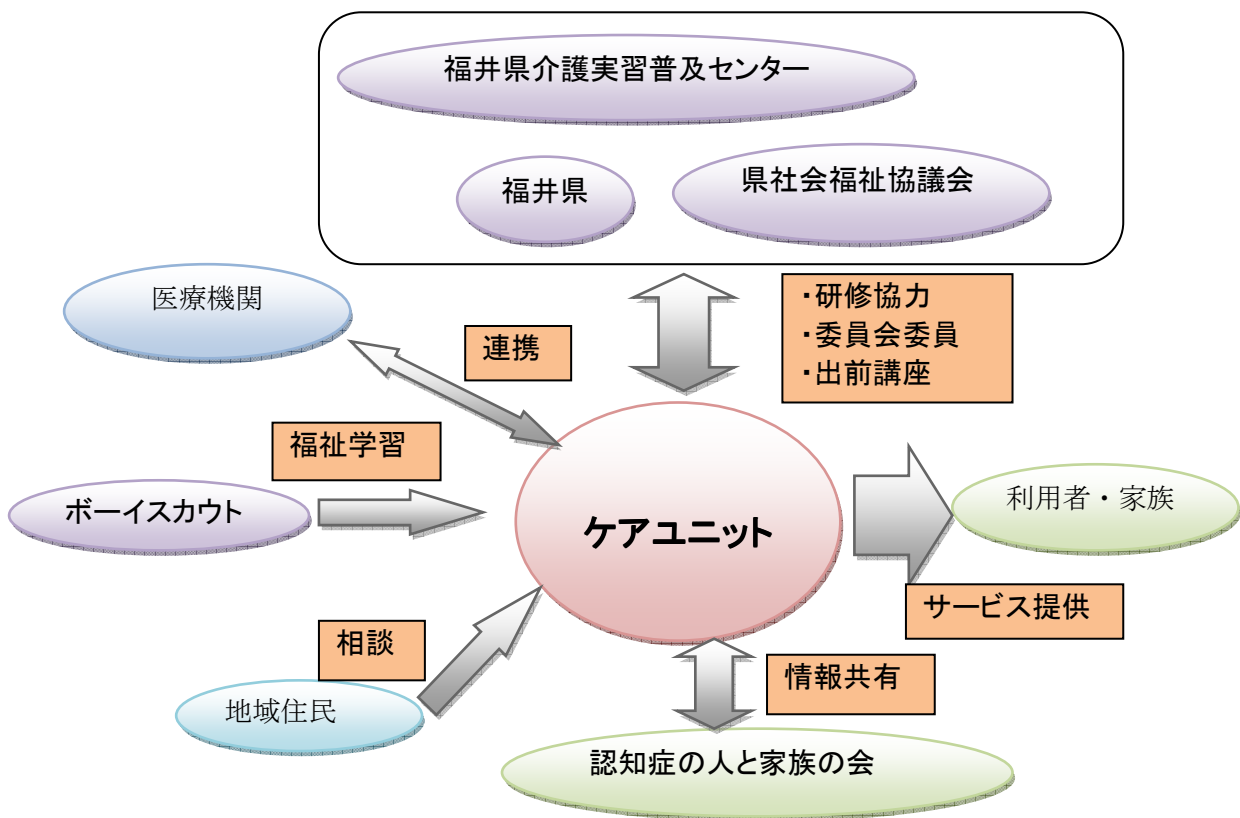
(ふりがな)	ゆうげんかいしゃ けあゆにと						
団体名	有限会社 ケアユニット						
所在地	〒910-4103 福井県福井市灯明寺 1 丁目 2401-2						
交通アクセス							
連絡先	0776-37-3333						
メール							
ホームページ	http://www.care-unit.com/						
事業理念 特徴	<p>有限会社ケア・ユニットは、子供から老人まで住み慣れた地域で安心して暮らせることを基本とし、事業所という概念ではなく、あくまで生活の場として 365 日 24 時間、利用者の尊厳を支え、家族的な雰囲気です在宅生活を送っていただけるよう支援業務を行っています。</p>						
事業詳細	事業名	主な対象者	内容				
	通所介護事業 (通所介護・介護予防通所 介護)	介護保険制度 利用者	デイセンターふくふく ・通所介護 スタッフ 6 人(OT 常駐) ・宅老所機能あり デイセンターのどか ・通所介護 スタッフ 4.8 人 ・宅老所機能あり				
	居宅介護支援事業 (小規模多機能型居宅介 護事業所・介護予防小規模 多機能型居宅介護事業所)	介護保険制度 利用者	・小規模多機能型居宅介護 スタッフ 12 人(OT 常駐) ・認知症(含む高次脳機能障害者)対応				
	居宅介護支援事業 (ケアプランセンター)		・居宅介護支援事業所 スタッフ 1.2 人				
	障害児童デイサービス事業	発達知的障害	・児童デイサービス スタッフ 2.5 人(OT 非常勤) ・土曜日は個別支援				
業務支援(経営サポート)、リ ハビリ指導、介護指導 等	一般	コンサルテーション・他事業所指導及び支援(業務受託)					
職員配置 (ボランティアを 含む)		看護師・保健師	理学療法士	作業療法士	社会福祉士	介護福祉士 (含むヘルパー)	保育士
	人数	3	2	4	1	20	2

II. 支援に関する情報

写真



地域との関係について



作業療法士の役割

- ・認知症に関する正しい知識や接し方等指導。今後キャラバン活動的に、小中学校へ出向くことが重要か。
- ・また認知症の人と家族の会との情報交換や研修機会等の接点作り。
- ・地域の老人クラブや地区社協等へ会議教室などの出前講座により社会貢献。
- ・活動の一環として利用者といっしょに地区行事等に参加すると、地域住民の方々が気軽に声をかけてくれたり、近隣の方々が家族や知人の抱えている高齢者問題等について相談に訪れるなど、地域に溶け込む活動の工夫が重要。

I. 事業所基本情報

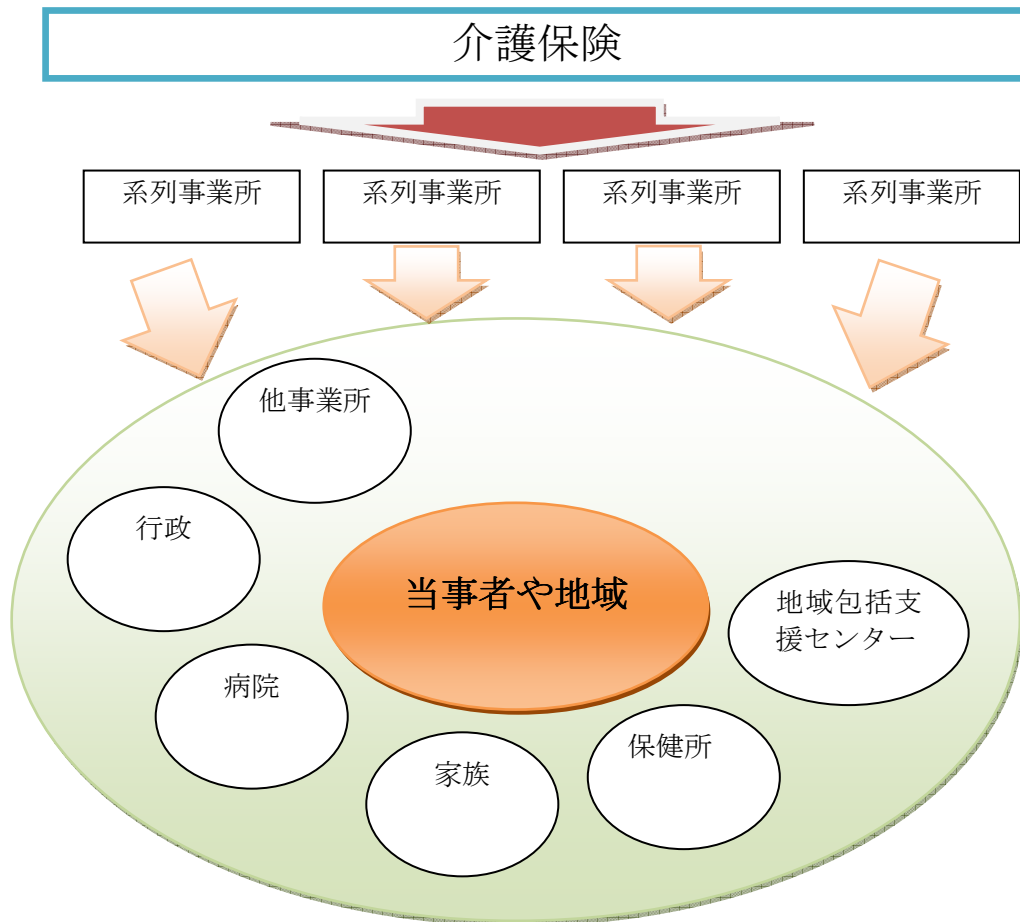
(ふりがな)	かぶしきがいしゃ めでいけあ・りはびり																										
団体名	株式会社 メディケア・リハビリ																										
所在地	〒583-0864 大阪府羽曳野市羽曳が丘三丁目 203 番地 1																										
交通アクセス																											
連絡先	072-931-2355																										
メール	info@medi-care.co.jp																										
ホームページ	http://www.medi-care.co.jp/																										
事業理念 特徴	<p>パワーリハビリ、スリングエクササイズを導入したリハビリ特化型デイサービスを展開。寝たきりにさせない！をモットーに利用者の能力に応じた日常生活を安定して営むことができるようリハビリテーションを実施。</p> <p>メディケア・リハビリでは、現在94名の療法士が在籍しており、地域にリハビリサービスを充実させるために各スタッフが日々奮闘している。</p>																										
事業詳細	事業名	主な対象者	内容																								
	訪問看護ステーション	介護保険制度利用者	訪問看護事業 訪問看護は、藤井寺・羽曳野を中心に訪問 訪問看護(リハ)事業は、大阪府下を中心にリハビリニーズのある地域へ広域展開																								
	① リハビリプラザ富田林 ② リハビリプラザ羽曳野 ③ リハビリプラザ交野 ④ リハビリプラザ守口	介護保険制度利用者	通所介護事業(リハビリ強化型) パワーリハビリ・スリングを中心に、毎日、療法士が関わる通所介護施設の運営																								
	リハビリ事業部	地域住民	保険適用外リハビリ事業 市町村の委託事業、外部事業の支援(紹介・派遣)、各種養成校での講師等 ・市町村からの介護予防事業・教育委員会からの支援学級派遣 ・保健所からの難病訪問事業 ・ヘルパー養成講座 ・認定審査会での認定審査員 等、年間の依頼数は30~40件程度あり(委託業務により頻度異なる)																								
その他、居宅介護支援事業所・ヘルパー事業・福祉用具貸与・特定福祉用具販売・住宅改修																											
職員配置 (ボランティアを含む)	<table border="1"> <tr> <td>保健師・ 看護師</td> <td>理学療法士</td> <td>作業療法士</td> <td>言語聴覚士</td> <td>社会福祉士</td> <td>介護福祉士 (含むヘルパー)</td> <td>保育士</td> <td>事務・販売・経理等)</td> <td>一般事務(庶務)</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>33</td> <td>48</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>63</td> <td>0</td> <td>38</td> <td>15</td> </tr> </table>								保健師・ 看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	社会福祉士	介護福祉士 (含むヘルパー)	保育士	事務・販売・経理等)	一般事務(庶務)	その他	12	33	48	4	3	63	0	38	15
保健師・ 看護師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	社会福祉士	介護福祉士 (含むヘルパー)	保育士	事務・販売・経理等)	一般事務(庶務)	その他																		
12	33	48	4	3	63	0	38	15																			

II. 支援に関する情報

写真



地域との関係について



作業療法士の役割

①ルーチン業務

- 機能訓練(関節可動域・筋力など)
- 動作訓練(起き上がり・歩行・入浴動作・トイレ動作など)
- 失語症、構音障害のある方へのコミュニケーション支援
- 摂食・嚥下障害のある方への食事指導・嚥下訓練
- その他 リハビリに関する専門的指導・アドバイス

②地域の中での役割

- ・作業療法士としてというよりも、地域の中で必要とされているものに対し取り組む。
- ・利用者・保険者・事業としての視点を常に持つよう意識している。
- ・地域連携勉強会開催の都度、現場から声を吸い上げ、内容を反映させる。
- ・スーパー催事場での相談会、産業フェア、地域支援事業等の開催、参加。

I. 事業所基本情報

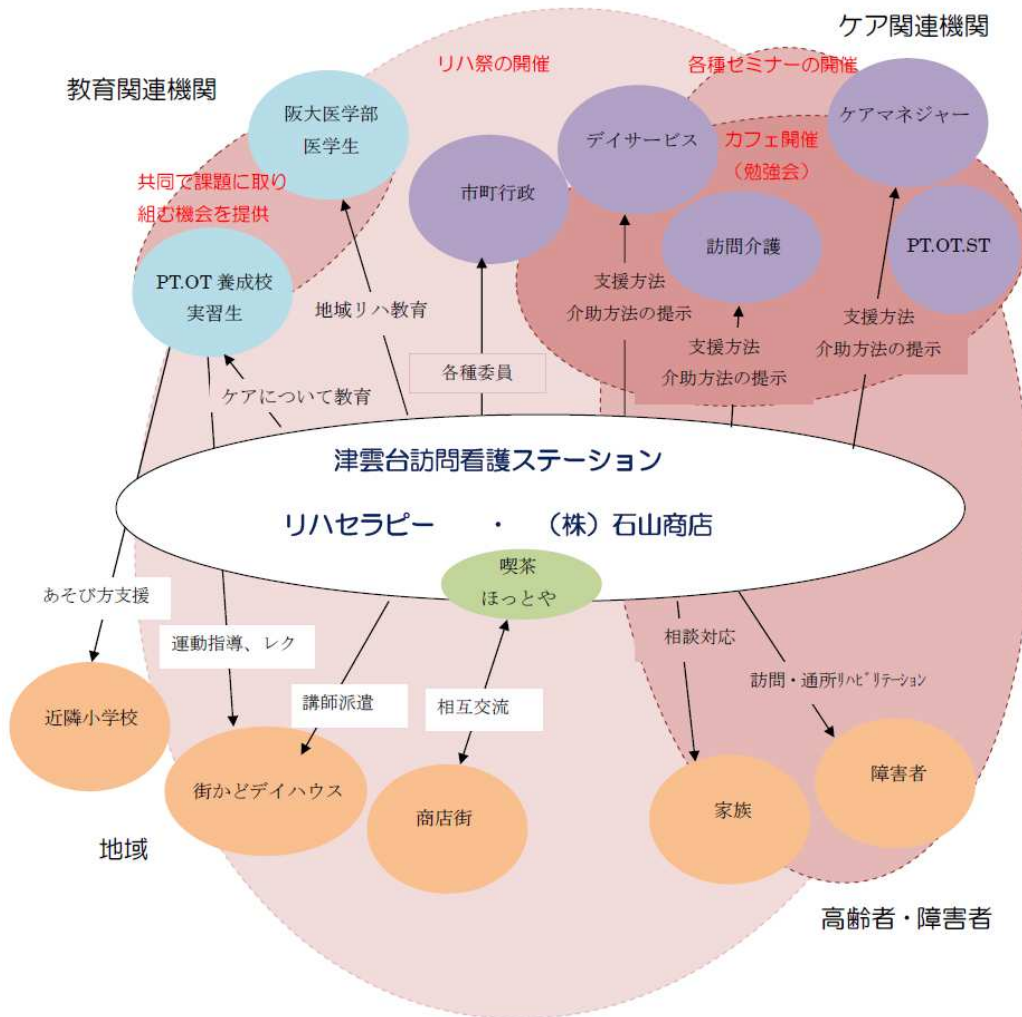
(ふりがな)	せんりつくもだいほうもんかんごすてーしょん		
団体名	千里津雲台訪問看護ステーション		
所在地	吹田市津雲台4丁目1-23		
交通アクセス	阪急南千里駅より徒歩12分		
連絡先	TEL 06-6873-6609 fax 06-6873-6616		
メール	ten@ya3.so-net.ne.jp		
ホームページ	http://www002.upp.so-net.ne.jp/ten/		
事業理念 特徴	<p>所長の石山氏は老人保健施設に勤務経験があり、地域リハビリテーションを実施していくうえで、対象者や時間、場所など既存の制度では制限が多すぎると感じて当事業所を開設した。作業療法は本来広がりのあるものであるが、制度内では展開の幅に制限が生じる。例えば、対象者に車の運転を行う、バスに乗る、買い物に行くなど。望む地域リハビリテーションに見合うには制度（介護保険、作業所）では対応できないため、追求していくとここのかたちになった。</p> <p>【事業所キャッチフレーズ】 リハビリをもっと身近に街中で</p>		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
事業詳細	訪問リハビリテーション	介護保険対象	介護保険下の訪問看護ステーションからの訪問リハビリテーション。訪問介護のスタッフに対して、対象者が目的とする活動を実行できるよう、支援方法を指導している。方法については、関わる全事業所に対する研修会を開催し、一人ひとりが着実に身につけできると実感するまで指導した。また方法がわかるように写真入りの解説を作成するなど工夫した。
	通所リハビリテーション	医療や介護保険の対象外等	医師の処方箋有り。個別リハに加え集団を実施。集団の中で個々のつながりや個人の力を発揮できるよう工夫している。
	喫茶ほっとや	地域住民	コーヒー1杯200円。周辺への配達販売も行っている。店主は障がい者で、他の障がい者に工夫を伝える機会でもある。
	各種セミナー、カフェ	専門職	専門職を対象とした勉強会を開催。1回以上/月開催
	相談対応	地域住民	介護やリハビリテーションに関する相談に応じている。
	リハ祭	地域住民	リハの普及を兼ねた祭りで講演会や体操など。1回/年。
	出前講座	地域住民等	介護職の健康管理、技術指導。市民の転倒予防教室の講師等。
	ケアサービス支援	事業所職員	デイサービス等と契約しOTを派遣。スタッフ支援や介助方法のアドバイスを行う。
	市町の各種委員		ケア会議への出席や困難事例の検討会へ出席している。
	実習生への指導	学生	OT, PT, DRの学生が共に課題に取り組み考える機会の提供等。
職員配置 (ボランティアを含む)	作業療法士：常勤5名非常勤6名 理学療法士：常勤4名非常勤15名、 看護師・保健師：常勤1名非常勤2名 その他：常勤1名非常勤1名		

II. 支援に関する情報

実際の活動の様子



地域との関係について



作業療法士の役割

- ① 利用者の訴えに基づく自立支援のためのサービス提供（利用者本位の個別メニューの開発）
- ② 心身機能と生活環境を見合わせた個別性を評価（日常生活や社会参加上の不利益を明らかにする）
- ③ 集団の中でも個別性を理解して関わる（集団特性を個人に適合させる視点）
- ④ 社会参加拡大を保障（通所自体が社会参加であるという考えで終わらないよう社会参加活動の拡大）
- ⑤ 自立支援のメンテナンス機能（維持期における定期的な機能チェックとメニュー変更などの予防モデル）
- ⑥ 家族・介護者への正のフィードバック
- ⑦ 医療連携、地域啓発・教育

I. 事業所基本情報

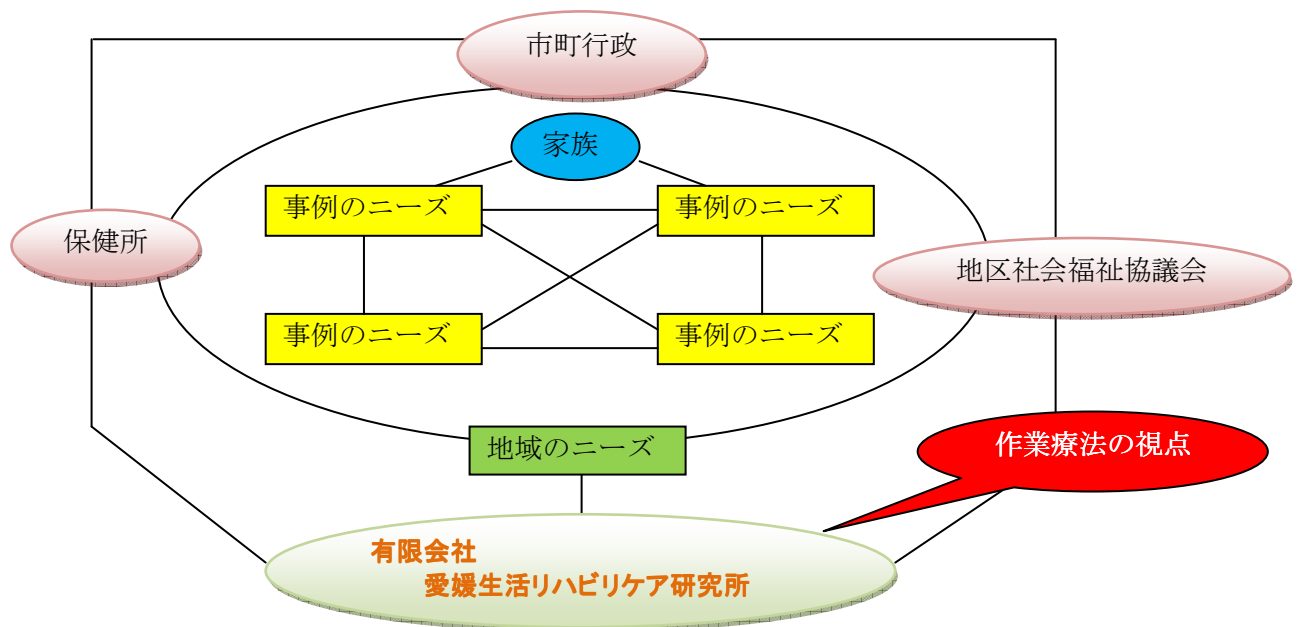
(ふりがな)	ゆうげんかいしゃ えひめせいかつりはびりけあけんきゅうじょ		
団体名	有限会社 愛媛生活リハビリケア研究所		
所在地	〒791-1121 愛媛県松山市中野町甲 366 番地 1		
交通アクセス			
連絡先	089-963-8271		
メール	ehime-rehab@msi.biglobe.ne.jp		
ホームページ	http://www5e.biglobe.ne.jp/~e-rehab/		
事業理念 特徴	<p>事業所代表は医療機関に勤務していた時、担当した片麻痺の方が膵臓ガンで亡くなる間際に残した「別府温泉に行きたい」との言葉を叶えられなく、そのできごとがいつも心のどこかに引っかかっていた。そんな時期に介護保険制度が成立し、一人ひとりに応じた作業療法の提供を改めて考え起業に至った。</p> <p>事業所の業務展開は、リスクマネジメントを踏まえた安全な作業の実現を目指し、看護師の配置を厚くしている。日々職員は、自らの業務に何らかのやりがいを創造しながら、仕事の質の向上を図っている。</p> <p>保健師、社協、民生委員などとのネットワークを積極的に構築し、利用者のニーズに対しその一つひとつに「できる」という期待と可能性を持ちながら、日々の支援に高い意識と意欲を持つように心がけている。</p> <p>いつでも、どこでも、だれにでも いきいき、つやつや、楽しく、楽に</p>		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
	愛媛リハビリ訪問看護ステーション	介護保険制度利用者	訪問リハビリテーション。 ステーションには、常勤作業療法士6名のリハビリ専門職と、常勤正看護師3名を配置しており、細かな職員研修・勉強会と綿密な個別のレクチャー、そして主治医の指示書をもとに担当する利用者様の状況に応じた看護師訓練メニューの申し送りや確認・引継ぎ・モニタリングに尽力。この点が、他の一般的な訪問看護ステーションの看護師とは異なり、十分に療法士並みのリハビリを提供できる体制であることが特徴。 介護予防事業。 施設間契約での作業療法。
	愛媛リハビリ福祉用具サービス	介護保険制度利用者	介護保険対応の福祉用具レンタル、販売、 家屋改修
	愛媛リハビリ居宅介護支援センター	介護保険制度利用者	ケアプラン作成
職員配置 (ボランティア)	職員：看護師3、理学療法士1、作業療法士6、社会福祉士1、その他1 (不定期ではあるが、事業者が主催する地域貢献活動などでボランティア協力を得ている)		

II. 支援に関する情報

写真



地域との関係について



・さまざまな機関とのネットワークを構築する上で、作業療法の視点を活かしながら地域や当事者のニーズを分析し、必要な除法をそれぞれの拠点につなげる役割を担っている。

【作業療法士の役割】

- 利用者一人ひとりの生きがい、メンタル面（精神的な問題や悩み）、認知面での特徴等は作業療法士ならではの評価と分析により整理すること。
- 作業療法の視点から心理面はもとより、視覚的、触覚的な身体面での分析も加え、一人ひとりが示す活動や行為の現象を説明できること。
- 手すり、材質、温度など、環境と身体と精神の関係から状況把握と分析ができること。
- 介護予防事業や生涯学習などの生きがい支援事業などへの支援協力。
- 人権擁護関連事業への支援協力。

I. 事業所基本情報

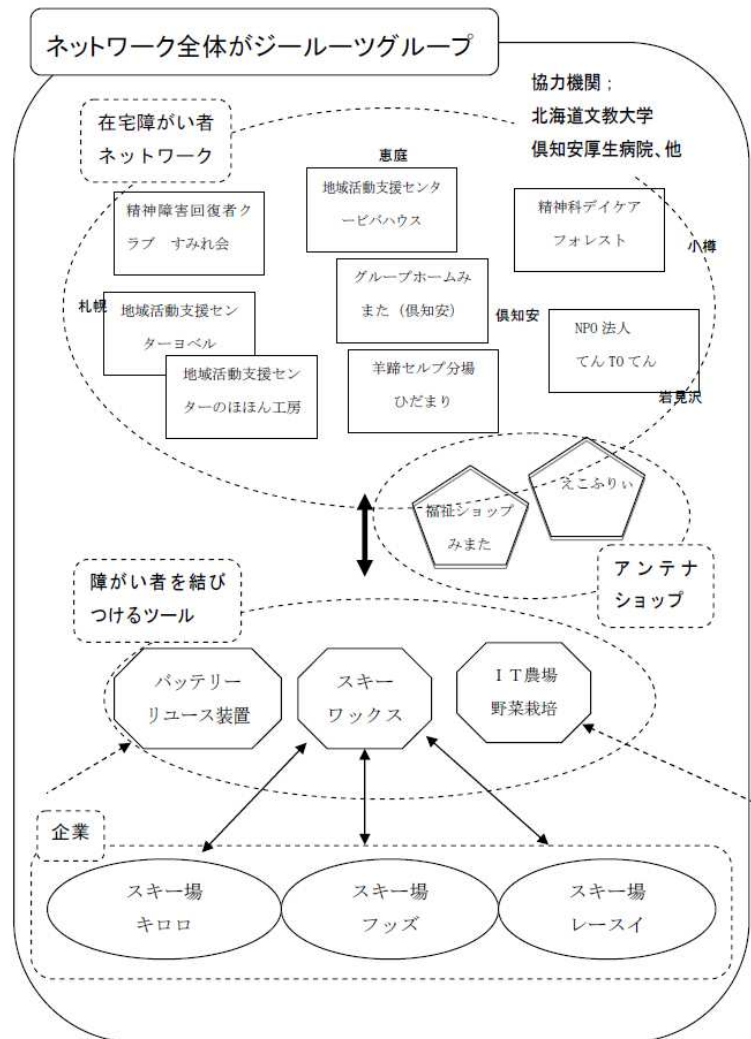
(ふりがな)	しょうがいしゃ・こうれいしゃ こようとうしえんぐるーぶ じーるーつ		
団体名	障がい者・高齢者雇用等支援グループ ジールート		
所在地	北海道札幌市南区簾舞3条5丁目4-1		
交通アクセス			
連絡先	TEL/FAX 011-596-5005		
メール	g.roots@jcom.home.ne.jp		
ホームページ	http://groots.yukigesho.com/index.html		
事業理念 特徴	<p>ジールート代表の奥村氏が、これまでに作業療法士として精神科病院、精神保健福祉センターなどに勤務するなかで、様々な当事者団体や作業所などとの間で構築してきたネットワークがこの活動の母体となっている。既存にはない特徴のある製品（ツール）を用いた「作業」を創り、雇用労働として成り立たせ、障がい者が社会で働く新しいビジネスモデルを模索することを目的に作業療法士が設立した任意団体。法人化の検討もされている。</p> <p>【事業所キャッチフレーズ】 「端楽（はたらく）を支援する団体」～革新的、画期的でかつ魅力的な製品を基に、作業療法士の視点で仕事を作り、雇用を創出。具体的な就労支援を行いつつ、障がい者・高齢者も就労できるビジネスモデルを見いだす～</p>		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
	雇用促進の直接支援事業 (ゲレンデワックスサービス 実践活動、IT農場)	精神障害・知的障害者	1. ジールートグループがスキーワックス会社（チームレスキュー）の代理店となり、スキー場とも契約を結び、委託された商品の広告業務及びスキー場の顧客サービスを、障がい者に結び付けて展開する業務。障がい者団体のネットワークを使い参加者を募り、障がい者がスキー場でゲレンデワックスサービス活動を行う。 2. 連携するIT農場への派遣
	雇用促進の間接支援事業 (ボランティア、コンサルテーション)	一般	1. 直接新事業に対するサポーター（ボランティア）の派遣。 2. スキー場など大きな企業に対し、障がい者雇用の実績を提示し、企業における障がい者雇用のコンサルテーション。
	小売販売事業	精神障害・知的障害者	バイオ消臭液（きえーる）、スーパートリノなどをショップ（えこふりい店、他）で販売する。
	委託事業	精神障害・知的障害者	スキーワックスのサンプル作製、ホームページ管理、倉庫機能などを地域活動支援センター等に委託する。
職員配置 (ボランティア)	作業療法士1名、その他1名 有償ボランティア：16名（OT、PSW、社会福祉主事）		

II. 支援に関する情報

実際の活動の様子



地域との関係について



作業療法士の役割

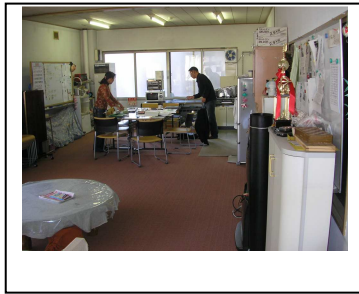
- ①障がい者が行う仕事の内容を明らかにし、障がい者が実施できるかどうか評価すること。（作業内容や工程、集団適応や対人スキルを評価）
 - ②障がい者が実施する際のサポート体制（ボランティア）を整えること。
 - ③企業に対し障がい者雇用についてのプレゼンテーションを行うこと。
- ※ 作業療法士は作業分析と障がいの評価ができるため、仕事と障がい者の適合ができる。
- ※ これら活動をもって、障がい者のイメージを塗り替えて行くこと。

I. 事業所基本情報

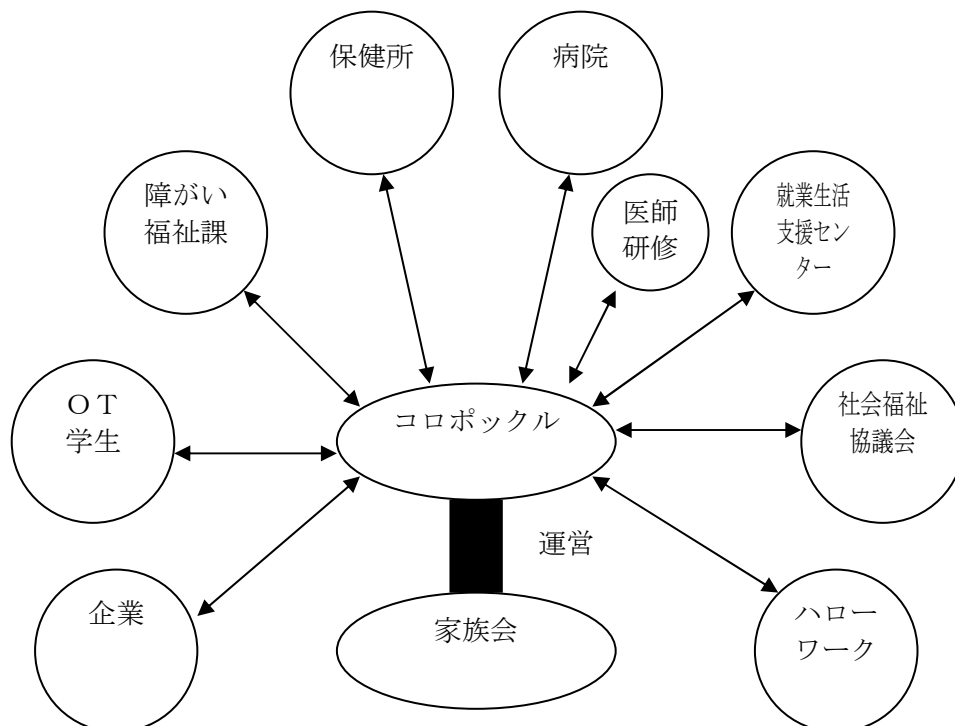
(ふりがな)	NPO ほうじんのうがいしょうとものかい ころぼっくるどうとうしふ ちいきかつどうしえんせんたー きょうどうさぎょうじょ ころぼっくるおびひろ		
団体名	NPO法人脳外傷友の会 コロポックル道東支部 地域活動支援センター 共同作業所 コロポックル帯広		
所在地	北海道帯広市大通南 12 丁目 1 サンバリエビル 3 階		
交通アクセス	帯広駅から徒歩 5 分		
連絡先	tel0155-24-6974 fax0155-24-6974		
メール	koropokkuru-obihiro@violet.plala.or.jp		
ホームページ	http://www14.plala.or.jp/koropokkuru/index.html		
事業理念 特徴	<p>高次脳機能障害は法律や制度の谷間に落ちることが多く、日中活動の場など受けることのできるサービスも少ない。また、保護者や家族は悩みを話しあったり相談する機関もない状況。このような背景から日中活動の場として作業所（地域活動支援センターⅣ型）を運営している。さらに、高次脳機能障がいについての理解を得るために、医療機関や関係機関を含めた一般に対する普及啓発活動も行っている。</p> <p>【事業所キャッチフレーズ】 とびだせ一歩！</p>		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
	共同作業所コロポックル帯広運営事業 (地域活動支援センターⅣ型)	高次脳機能障害	創作的活動として作業工程をわかりやすく細分化し、個々の障がいの程度や特性、得手不得手などに合わせたうえで小物などの製作作業を提供している。また社会活動や対人スキル維持向上として、地域の行事やイベントにバザーとして出展し、販売活動を実施している。遂行能力の維持向上、役割づくりとして食事作りを作業として実施している。また料理以外にも高次脳機能障がいの精神、心理に合わせたリハビリプログラムを作業などの活動を通じて提供している。授産作業としてビル清掃の作業を行い、工賃を提供している。
	高次脳機能障害者支援・相談事業	高次脳機能障害	生活支援・就労支援等の支援 面接・電話等による相談
	家族支援事業	家族	家族学習会・家族交流会
	普及啓発事業	地域住民	高次脳機能障害に関する講演会・パネル展示即売会・たよりの発行・ホームページの運営
その他事業	OT 学生	OT 養成校実習受入れ	
職員配置 (ボランティア)	作業療法士 1 名、保育士 1 名、その他 2 名 専門職ボランティア：1 名		

II. 支援に関する情報

実際の活動の様子



地域との関係について



作業療法士の役割

OT はまず利用者本人のやりたいことや目標を把握し、その実現に向けての支援やコーディネートを行う。脳機能の改善のための手工芸製作作業やバザーなどの作業活動を介することにより、その実現に向けての支援を行う。また、各機関やボランティアなど関係者との連携も行う。

さらに大きい視点として高次脳機能障がいについての普及啓発活動を行い、一般に理解をもとめ、当事者の社会参加へ向けての支援を行う。

I. 事業所基本情報

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん なすふるんていあ		
団体名	特定非営利活動法人 那須フロンティア		
所在地	栃木県那須塩原市宮町 2-4		
交通アクセス	J R 黒磯駅から徒歩 5 分		
連絡先	tel0287-63-7777 fax0287-73-7022		
メール	frontier@io.ocn.ne.jp		
ホームページ	http://www.nasu-frontier.com		
事業理念 特徴	<p>平成 11 年 11 月に NPO 法人の認証を受け、栃木県東北地域で活動を展開している。精神障害者に対しての地域生活支援に関する事業を行い、精神障害者が地域で自立して生き生きと生活が出来るようにしていくとともに、地域社会における深刻な問題であるメンタル・ヘルスの問題にも積極的に取り組み、その充実を図っていくことを目的としている。また、これらの活動を通して、地域住民の精神障害に対する理解が深まることにより、地域の精神保健福祉の向上に寄与することを目指している。</p>		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
	就労支援事業所 喫茶店ホリデー (就労移行支援)	精神障害	通所されてくる方々が自分の住み慣れた地域でそれぞれの目的を持ちながら、いきいきと働き、力をつけていく場所になることを目指し、ご本人、そのご家族、常勤スタッフ、医療従事者、学生ボランティア、地域の有志で協力して活動を展開している。また、喫茶店という一面をあわせ持ち、喫茶店業務を通じた地域の方との交流の場でもある。
	地域生活支援センター ゆずり葉 (相談支援事業) (地域活動支援センター I 型)	精神障害	地域生活支援センター「ゆずり葉」は、心の病を持ちながら地域で生活している方やそのご家族の困っていることといった『生活のしづらさ』を一緒に考えていくとともに、地域で暮らす人たちのメンタル・ヘルスに関する相談・支援を行っている。また、障害を持つ方のみを対象とするのではなく、地域住民や学校・企業などとも連携をとって、メンタルヘルスの問題に幅広く対応している。
	ボランティア事業	地域住民	精神保健福祉講座、ボランティア育成
	講演会	地域住民	年に一回シンポジウムを開催
	後援会	地域住民	HP の運営、広報誌発行等
	その他	地域住民	黒磯駅前活性化委員会への参加協力を通じた地域交流等
職員配置 (ボランティア)	<p>作業療法士 4 名、精神保健福祉士 2 名、喫茶職員 2 名、非常勤職員 1 名 後援会会員：350 名 企業団体会員 10 か所 ボランティア：近隣医療機関の医師、作業療法士、精神保健福祉士、行政職員、近隣住民等</p>		

II. 支援に関する情報

写真



就労支援事業所
喫茶店ホリデー店内の様子



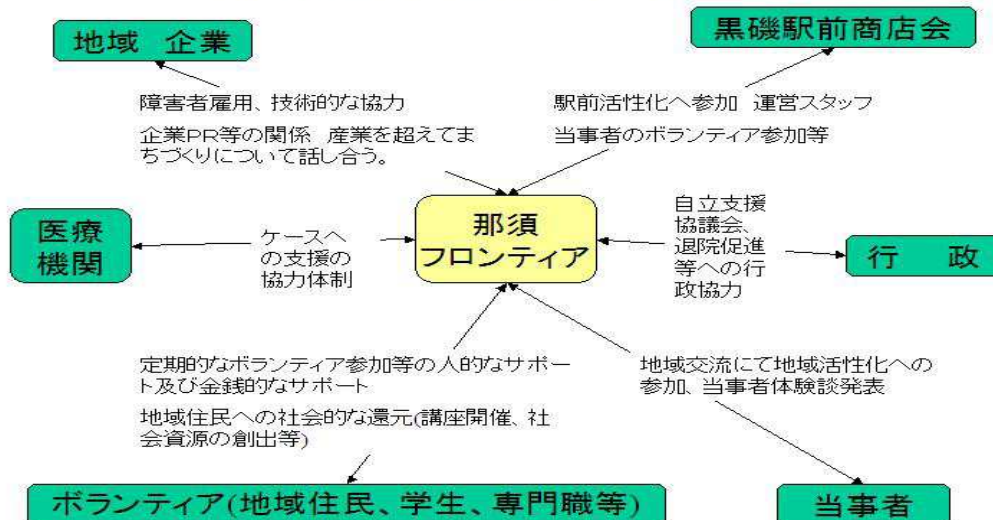
地域交流
コンサートの開催



地域交流
黒磯駅前活性化委員会

地域との関係について

那須フロンティアと地域とのつながり



作業療法士の役割

様々な産業や分野を超え『まちづくり』の視点を持ち、フットワークよく動くことを心がけ、直接出向き顔の見える関係を作る配慮をしている。そのようなつながりから得られた人とのつながりや情報を有効活用し、関わるそれぞれの人が皆得する関係機を意識している。そうすることで障害者雇用、当事者の社会参加を通じて自然な形での精神障害に関する啓発活動となっている。また、外部スタッフの協力を得ることで点検作業となる。

作業療法士のフィールドを広げていくには「まち」という広い枠の中での地域生活支援は、関わる職種や行き交う人も多く、多様な意見、提案、価値観に作業療法士としての支援について揺らぐこともある。しかし、作業療法について改めてふり返り、「まち」を見渡していくと、作業療法士としての立脚点は対象者の“疾患特性”、“疾患と障害との関係性”、“障害特性”を把握した上で、本人なりの生活が送れるように支援を展開出来る事であると思う。

このような立脚点は、全ての作業療法士が共有している強みでもあり、支援を「まちづくり」の視点へ収斂させていく事はとても自然な発想であると思う。これからも、作業療法士としての立脚点を持ちながら「まち」の中をフットワークよく動き、その動きが作業療法として「まち」の方に認識していただけるように「まちづくり」に参画していきたいと考えている。

I. 事業所基本情報

(ふりがな)	NPO ほうじん いきいきふくしねっとわーく		
団体名	NPO 法人 いきいき福祉ネットワーク		
所在地	東京都目黒区碑文谷 6-5-10		
交通アクセス	東急東横線学芸大学駅下車東口徒歩 5 分		
連絡先	Tel 03-3713-8207 Fax 03-6808-8576		
メール	info@ikiikifukushi.jp		
ホームページ	http://www.ikiikifukushi.jp/access.html		
事業理念 特徴	<p>高次脳機能障害と若年認知症のための総合専門支援施設で障害者が社会から排除されることなく市民と共生しながら社会の構成員として包み支え合い社会、経済、文化などあらゆる活動にいきいきと参加できるコミュニティを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆障害者社会参加支援モデルの開発 ◆福祉ネットワークシステムの形成 ◆コミュニティプロジェクトの実践 		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
	ディサービス 介護保険制度	若年認知症者／高次脳機能障害 40代～60代前半の方 目黒区以外の方もご利用可能	<p>▼認知障害の個別機能訓練をリハビリテーション専門スタッフから受けることができます。 少人数制で自宅のような空間で、ご利用者様同士すぐに馴染みの関係になります。認知障害の個別のケアを受けることができます。違和感なく地域サークル活動のように参加できます。</p> <p>▼社会活動への参加として地域催事（区民祭りなど）の企画・実施、近隣ボランティア活動、遠方への外出活動など、施設から一歩外へ出ていきます。</p>
	目黒区高次脳機能障害相談支援センター いきいき*セカンド	40歳未満の高次脳機能障害をお持ちの方	高次脳機能障害者のための総合相談。 日常生活の過ごし方、社会生活の適応について、病院情報、訓練・リハビリテーション情報などを提供。同じ障害をお持ちの方と交流したり、活動をして情報交換をすることができます。
若年認知症支援モデル事業		多岐に渡る支援制度の相談が1箇所で行えるワンストップ機能・情報提供や関係機関との連携、サービス利用手続きにおける同行支援まで、状況・ニーズに応じた総合的なマネジメント支援を実施。また地域包括支援センターを対象に講習会を開催し、若年性認知症のマネジメント支援等の普及や若年性認知症に関する知識・対応方法等についての啓発活動を行い、理解促進及び本人・家族の生活支援を図る。	
職員配置 (ボランティア)	職員:作業療法士 3 名、看護師 1 名、社会福祉士 2 名、精神保健福祉士 1 名、その他 3 名 ボランティア:地域住民が参加正会員 80 名、企業会員 2 団体		

II. 支援に関する情報

写真



施設内の様子

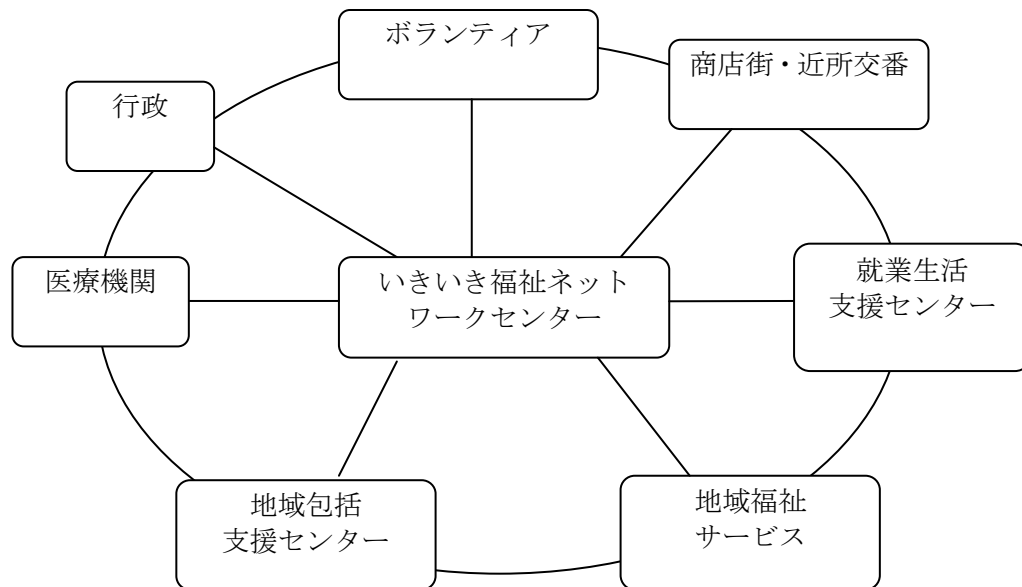


入口にある
プランターガーデニング



イベントの
打ち合わせの様子

地域との関係について



作業療法士の役割

対象を高次脳機能障害、若年認知症に特化し、医療機関や地域包括センターにうまく活用して頂けるように、地道な支援や啓発活動が続けているが、支援者が見逃すことのないように地域に潜在してしまわないようなチェック機能を徐々に持てるようになってきている。また、認知障害の個別機能訓練や就労を希望するケースについては区の就業生活支援センターと連携をして高次脳機能障害の評価、生活能力、作業能力などの評価をしている。10人の利用者に対してスタッフは5人でそれぞれが専門職の資格者を配置し特殊な障害の領域でもあるので、ライフステージに応じてかつ個別性を重視した質の高いサービスを提供。

(1) **マネジメント支援**: ①医療・介護・障害福祉・就労・行政等の支援制度の総合相談 ②医療機関・ケアマネジャー・介護保険事業所・行政窓口等と連絡調整・情報提供やサービス利用に必要な手続きの代行・同行支援。

(2) **家族支援**: 認知症専門医や保健師等の専門職による相談・助言、家族の相互交流

(3) **普及啓発**: 「連携シート」を活用した相談支援事例について分析・評価検証を行い、支援マニュアルを作成。地域包括支援センターを対象に講習会を開催し、若年性認知症のマネジメント支援等の普及を図る。若年性認知症に関する知識・対応方法等についての啓発活動を行い、理解促進及び本人・家族の生活支援を行っている。

I. 事業所基本情報

(ふりがな)	くらぶはうす すてっぷなな		
団体名	クラブハウス すてっぷなな		
所在地	神奈川県都筑区仲町台 5-2-25 003 号		
交通アクセス	横浜市営地下鉄 仲町台駅から徒歩 5 分		
連絡先	Tel/Fax 045-949-1765		
メール	clubhousestepnana@yahoo.co.jp		
ホームページ	www.geocities.jp/clubhouse_stepnana		
事業理念 特徴	主に交通事故などの後天性脳損傷による高次脳機能障がいのある方が、もう一度らしさを取り戻す場所（すてっぷ）であって欲しいと思い、運営している作業所です。地域でより安心・安定した時間が過ごせるよう生活支援を行っています。		
事業詳細	事業名	主な対象者	内容
	地域活動支援センター (障害者地域作業所型)	高次脳機能 障害	犬用クッキーの製作・販売、印刷受注業務、地域交流、公共の乗り物による外出など、自分らしさをとりもどす場所(ステップ)としてオープンしたところです。犬用クッキーの製作・販売、ポストカード作成の仕事をそれぞれが自分のペースで行っています。明るいガラス張りの作業所で、高次脳機能障がいの方が、仲間と共に認め合い、助け合いながら和気あいあいと作業を行なっています。犬用の色々な味のクッキーを皆で手作りし、販売しています。このクッキーはとても好評で、ドックカフェやペット専門店などにも置いてもらっています。また、動物の絵の上手な方が手書きで描いたイラストを、パソコンの得意な方が印刷まで行い、ポストカードにして販売しています。特技や個性を生かし、できることを楽しみながら行なっています。この他、地域の中で、印刷業務などを請負い、ダイレクトメール作成の作業まで行なう事もあります。常に話し合いの場をもうけ、自分たちで余暇活動の計画を立てたり、博物館や食事会などに出かけたりと、仲間が集い、語り、地域の中でいきいきと生活する事を大切に、支援をしています。
	障害者自立生活 アシスタント事業	高次脳機能 障害	地域で自立した生活を送ることができる社会を実現するために、身近な地域での生活上の相談・助言・情報提供・コミュニケーション支援を総合的に行う。利用者の障害特性を踏まえた社会適応力・生活を高めるための支援を行うことにより、地域で生活する障害者の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的としている。
職員配置 (ボランティア)	職員：作業療法士、介護職、非常勤医師等 地域のボランティアも 2 名定期的に参加している。		

II. 支援に関する情報

写真



施設内の様子

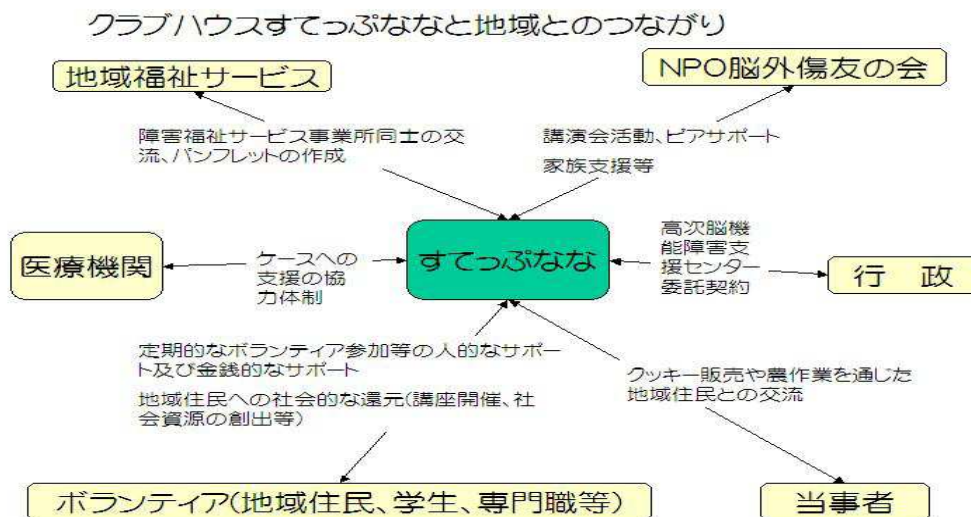


販売商品 絵手紙 クッキー等



犬用のクッキー作り

地域との関係について



【作業療法士の役割】

作業療法士は「障害」と「生活」、どちらも理解し、支援することができる職種で「医療の知識に加え生活を支援するプロであるので、幅広く対象者の生活を支援できると考えている。予後を見据えその先の生活を知ることが日々の支援に欠かせない要素のひとつで、生活環境やライフステージも変化していくので、その時々合わせた支援を心がけている。また、「高次脳機能障害がゆっくりとした回復やスキルアップであるために、丁寧に支援をすることが必要である。就労支援を含めたより個別に応じた支援が必要なために、一人で抱えず、さまざまな人と顔見知りになり、一緒に支援をしている。

具体的なケースへの支援だけではなく、地域との繋がりを意識した商業振興会との交流や近隣住民との交流はとても大切に行っている。医療と地域のかけはしとなり、安心・安定した地域での生活を共有できる場所を目指しています。また、当高次脳機能障害について啓発を続けていく中で当事者の力は大きく、自ら情報発信する事も増え社会参加や役割を担うきっかけにもなっている。

I. 事業所基本情報

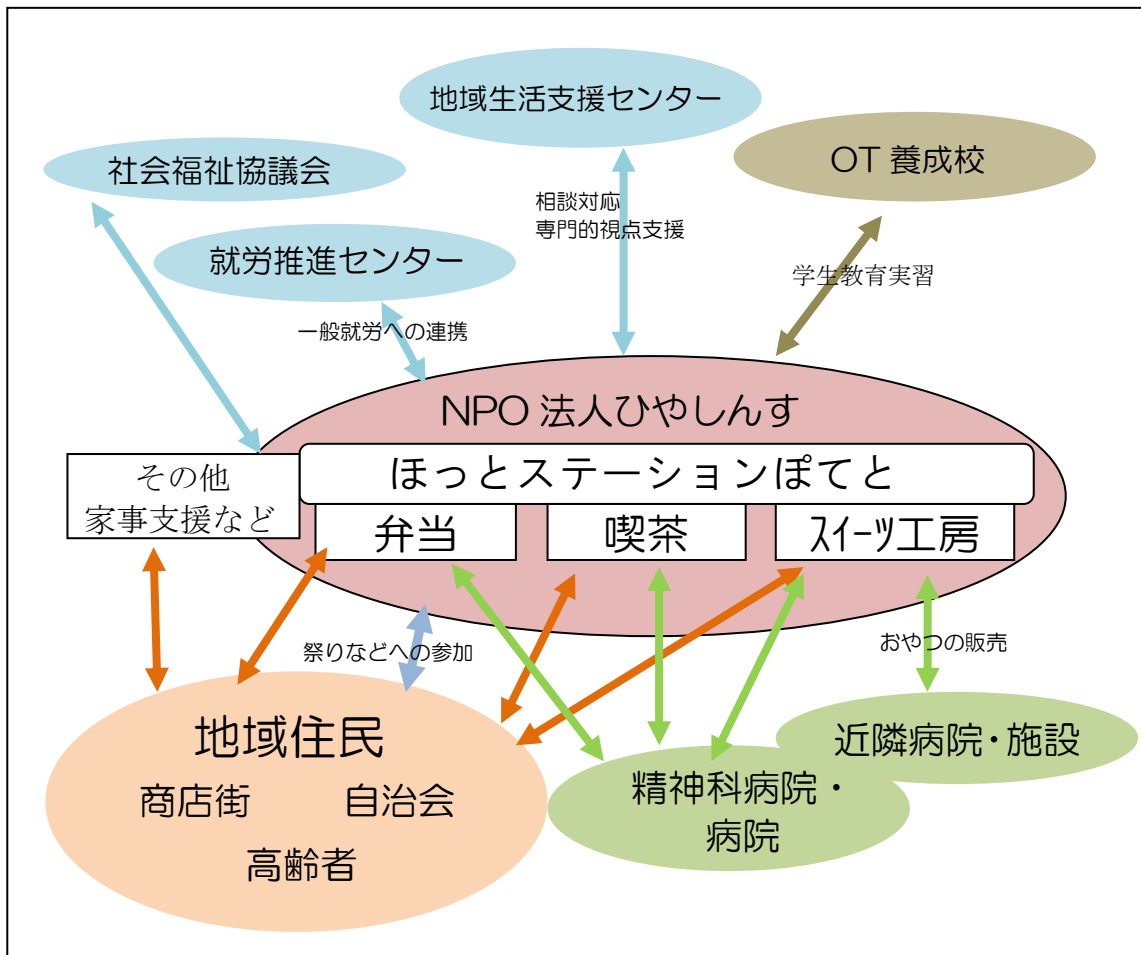
(ふりがな)															
団体名	特定非営利活動法人ひやしんす「ほっとステーションぽてと」														
所在地	〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字古々山 29-221 カワイケビル 3F														
交通アクセス	神戸電鉄「大池駅」 徒歩 1 分														
連絡先	Tel/fax 078-581-3796														
メール	hiyashinnsu001@yahoo.co.jp														
ホームページ	http://space.geocities.jp/hiyashinsu_cafe_poteto														
事業理念 特徴	<p>ひやしんすは、障害者が誇りを持ち、社会に参画できる機会の増進を図り、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域社会づくりに寄与することを目的として活動している。障害を負うことによって見失ってしまった自分らしさを再び見つけていく場所。</p> <p>施設長の作業療法士は、精神障害のある方や家族が気楽に足を運ぶ場が必要だと思った。障害のある方と一緒に皆でできることがしたいと感じ、喫茶店というかたちで始めることにした。その後の事業展開は地域ニーズ(高齢者や精神障害者)に沿って行った。また精神障害のある方の場を運営するからこそ、偏見を持たれないように心がけ、周囲の理解を得ることに勤めた。かたらい喫茶や宅配弁当サービスは、このような視点から生まれた事業である。</p> <p>現在行っているスイーツ(お菓子作り)は接客などとは異なり一定のことを実施する作業で、精神障害のある方には向いている。</p>														
事業詳細	事業名	主な対象者	内容												
	就労継続支援 B 型事業所	精神障害者	2 年間小規模作業所として運営し、1 年間の地域活動支援センターを経てその後 B 型に。												
	<ul style="list-style-type: none"> 就労支援事業「Café ぽてと」 地域交流事業「かたらい喫茶」 障害者、高齢者援助事業「宅配弁当サービス」 	精神障害者	<p>ちょっとした軽食や満腹になるランチ、プロのパティシエさん直伝の手作りケーキづくり。</p> <p>毎週土曜日六甲が丘会館にてグラウンドゴルフ大会や音楽会、体操や、映画鑑賞会などさまざまなイベントを実施し、ぽてとも交流の場に参加。</p> <p>大池駅近隣にお住まいの外出が困難な方(おひとり暮らしの方、子育て中のママ、身体や精神に障害のある方など)にお弁当をお届け。地元農家直送の米や野菜を使い、バランスを考えた日替わりのお弁当づくり。さらに、お手伝いが必要な方には洗濯、掃除、買い物などの簡単なサービス(有料)を提供。</p>												
グループホーム (共同生活援助+介護)	精神障害者	定員 4 名													
職員配置 (ボランティアを含む)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>作業療法士</th> <th>保育士</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤</td> <td>2</td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>非常勤(日/週)</td> <td></td> <td>1(3日/週)</td> <td>4(2~4日/週)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他スタッフの内訳: マッサージ師、調理師</p>				作業療法士	保育士	その他	常勤	2		2	非常勤(日/週)		1(3日/週)	4(2~4日/週)
	作業療法士	保育士	その他												
常勤	2		2												
非常勤(日/週)		1(3日/週)	4(2~4日/週)												

II. 支援に関する情報

写真



地域との関係について



作業療法士の役割

- ・地域の中でのコーディネート役。
- ・色々な障害に対する知識を有する職種として、他の地域ケアスタッフに対する教育や情報提供が行える。

I. 事業所基本情報

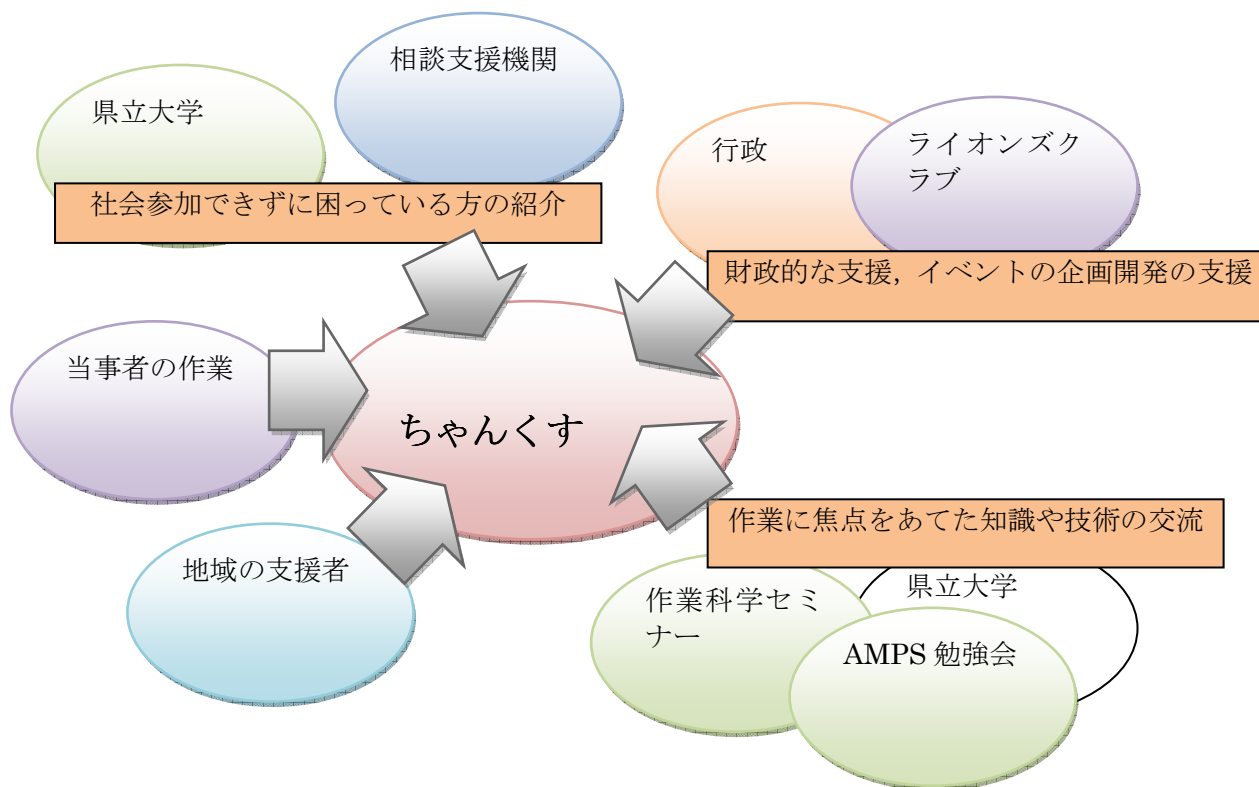
(ふりがな)	えぬびーおーほうじん ちゃんくす										
団体名	NPO法人 ちゃんくす										
所在地	〒723-0017 広島県三原市港町1丁目2番26号										
交通アクセス											
連絡先	0848-36-6525										
メール	chunksmihara@beetle.ocn.ne.jp										
ホームページ	http://genki365.net/gnkm05/mypage/index.php?gid=G0000052										
事業理念 特徴	<p>当事者の経験を地域の中で活かせるような働きかけを行っていきたいと考えたときに、既存の事業所では制約が多いと感じ、活動実施に際し自由度の高い作業拠点の必要性を感じた。</p> <p>ちゃんくすは、障害の有無や年齢など個人が持つ背景を超えて全ての人に対して、1)地域の人々が集い、作業する場の拠点作り、2)人が作業できることを目指した個別の相談支援事業、3)人と環境の調整を行う訪問事業に関する事業を行い、人が地域の中で、みずから困難を解決する力を育てながら、充実した生活を送るようになることに寄与することを目的としています。</p> <p>「やってみたいこと」「困っていることができるようになること」に焦点をあてて実現をサポートし、社会参加を応援したり、趣味活動を充実させたり、まちづくりへの意欲を形にしたり…とみなさんの意味ある「作業」に焦点をあてています。</p> <p>事業所代表は地域にある大学に勤務しており、そこで培ったネットワークなどを用いて当事者と地域とのコーディネートを行っている。</p>										
事業詳細	事業名	主な対象者	内容								
	相談支援事業	障害者	マンツーマンの個別相談								
	活動支援事業	障害者	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジスポットちゃんくす COPM(カナダ作業遂行測定)を用いた初期評価を経て作業を決定して個別活動。同じ作業をグルーピングしてコミュニティを作っている。 ・まちづくり活動 社会参加の練習としてまちづくりの活動(地域イベントの手伝い、ちゃんくすで企画したイベント)を実施するボランティアなどを行う。 								
	訪問支援事業	障害者	学校、職場、ハローワークとの連携など外部機関との連携を行う。家庭を訪問して作業療法など行っている								
職員配置 (ボランティアを含む)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>作業療法士数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>常勤</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>非常勤</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				作業療法士数	実人数	3	常勤	1	非常勤	2
	作業療法士数										
実人数	3										
常勤	1										
非常勤	2										

II. 支援に関する情報

写真



地域との関係について



作業療法士の役割

- ・ケースと作業を行いながら評価した結果を元にして、地域の資源とのコーディネートを行い、マッチングを行う。
- ・社会参加出来ない方の能力の把握と社会資源の環境の分析をしながら、マッチングする。